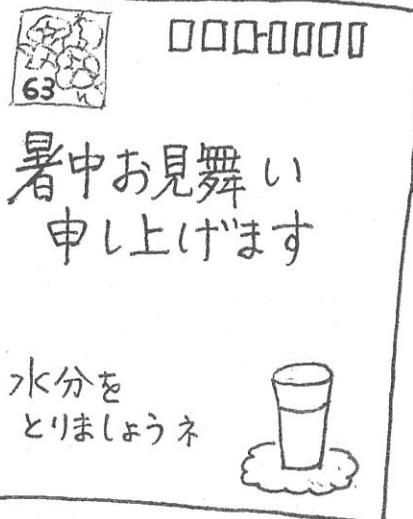


ふじの草の会だより

福寿草の会
愛川町介護者の会
第158号
2020年7月1日
連絡先 愛川町社会福祉協議会
Tel 046 (285) 2111



皆様、いかがお過ごしですか？
まだまだ予断を許さないコロナ禍ではあるのですが、7月の定例会を、場所を変更して開催できることとなりました。

4ヶ月ぶりに皆様とお会いできる！この日を待ち望んでおりましたが、以下の注意点にご留意いただき、ご参加下さいよう、お願ひいたします。

7月のつどい 7月15日(水)

- ◆時間 1時半～3時
- ◆場所 中津公民館（レディースフロア）
1階第1・第2会議室
- ◆内容 話し合い
- ▶体温測定の上、37.5°C以上（同居の家族も含め）、体調不良の方がいらっしゃる場合は、ご遠慮下さい。
- ▶マスクの着用、手洗いや手指消毒をお願いいたします。
- ▶参加希望者は、13日までに、役員または小沼（285-4166）までお電話下さい。
- ▶会費を集めますので、ご用意下さい。（1200円／年）

皆様とお会いできることを楽しみにしています。

追悼

横戸喜平治さん

横戸さんは、「海老名市介護者の会・四つ葉のクローバー」の発足時からの会員で、長く会長もつとめた方です。病気療養中でしたが、去る五月二十六日ご逝去されました。八十六歳でした。

いつも穏やかな暖かなまなざしで、私たち福寿草の会にも、応援の言葉をかけて下さっていました。

御両親の介護を長年され、特に認知症の母きよこさんとの日々を綴った詩は愛情とユーモアにあります。ありがとうございました。

介護を終わって思うこと

—前回のアンケートより—

＜実母（94歳）＞

母はこの世を去って10年になりますが、いつもそばにいてくれる感じです。

実母でしたので、最後まで心が通い、親子で過ごせたことが幸せでした。

＜義父母と夫＞

早くに実の親を亡くしていたので、親孝行ができると思いましたが、義妹があり、実の娘にはとてもかなわない、と感じていました。が、両親が亡くなつてからは、「おねえさん」と言ってくれるようになり、良い状態になっています。

介護施設に入所したあなたへ H.S

お元気ですか？
最後まで一緒に居られなくて、ごめんなさいね。

でも、今この時期、こういう形を選んで良かったと思っています。

私の人生で、一番長く一緒に暮らした人、そして多くの思い出と幸せを作ってくれた人、は貴方だけです。

ありがとうございます。ただただ感謝です。どうか一日でも長く元気でいて下さい。

介護の思い出

介護の仲間たちへ

「やむを得ず

介護してやっている」から

「介護させてもらっている」に俺の意識が変わったとき

母の介護がぐんとらくになった

重度痴呆症の母が

手間のかかる

「老いて自立できなくなつた

苦労を強いり相手から

身をもつて教えてくれている」に変わり

人間の生きざまを

そして母の姿と

自分の老いた姿が

重なつて見えたとき

泣きたくなるほど

母がたまらなく愛おしかった

以前の介護のストレスも消え

糞尿の始末も洗いも

苦にならなくなつた

平成十五年

右・右下の二編は、横戸さんの著書「人生勉強トカラ転載させついだき」また、「いつもにこにこきよこさん」とともに、福寿草の会にあります。ぜひ読んでみて下さい。

介護で苦労しているのは

自分でないことを知ろう

そして新たな介護力を育もう

疲れた施設に頼んで外に出よう

そして、仲間同士で話そう

目を外に向けよう

介護者会の仲間たちに助けられた

そして、介護される父母の姿が

数年後の自分の姿だと気づき

いらいらは消えてしまった

介護中の仲間たちよ

骨身惜しまず支えてくれる妻と

やさしい家族に支えられ

ご飯もまともに食べられず

父も母も憎らしい存在に思えた

アルツハイマーの母の介護で

はじめの頃はいらいらし

迷わず周りの人の助けを借りよう

重たい感情もしがらみもある

そのすべてを自分だけで担うのは

時間と労力だけではない

共倒れへの危険な道だ

迷わぬ間にせす身体を休めよう

肉親・家族の介護には

何も気にせず身体を休めよう

介護に疲れたら少し休もう

迷わず介護施設に頼もう

周りの人の目も親戚の声も